

施策評価シート【分野別施策】

施策名		関係部						
3-②	自然環境の保全を推進する	環境部、まちづくり政策部						
所管事業に関連する成果指標								
指標名	単位	計画策定時	実績値				31年度目標値	進捗状況
			27年度	28年度	29年度	30年度		
里山保全活動への参加者数（年間）	人	388	440	476	478	468	400	A
環境学習への参加者数（年間）	人	1,020	963	1,080	1,701	1,804	1,100	A
関連事業								
○里山保全推進事業○環境活動促進事業○西部丘陵地域資源まちづくり支援事業								
決算額								
	28年度	29年度	30年度	31年度				
事業費（千円）	1,260	1,240	1,102					
執行率（%）	100	97.33	95.33					
施策の推進に向けた主な取組の「成果」								
<ul style="list-style-type: none"> 里山保全モデル事業や「市民と大学生による里地里山再生プロジェクト」、里山保全の管理活動に関するワークショップを開催するとともに、市民活動ファンドを活用して地域が取り組んだ地域の魅力をPRするガイドブックの作成や散策コースなどの案内板及び吉沢八景へのサイン板の設置に対し、支援を行いました。また、環境活動実践者への支援や会員相互の交流を図るとともに、環境活動を率先して行う市民を養成する環境市民講座を開催したほか、緑化まつりや環境フェアでの啓発活動及び子ども環境教室（川編、里山編、海岸編）を実施しました。 								

施策を推進する上での「課題（・）」と課題解決を図るための「取組方針（⇒）」

・里山保全活動は、モデル事業の継続と、より地域に密着した取組として展開する必要がある。西部丘陵地域では、自然資源や地域資源を活かした交流やレクリエーションの場づくりが必要です。また、若年層を中心とした市民の環境保全に向けた主体的な行動が必要です。

⇒生物多様性の保全を意識した活動と、里山に関する情報を発信することで市民の関心を誘発し、市民主体の里山保全活動を促進するとともに、地域や学術機関等との連携により、地域の基幹産業である農業を活用した取組の調査・検討を進めます。また、幅広く市民に関心を持ってもらうため、環境フェアを大型商業施設で開催するなど、環境教育を推進します。